

平成21年第12回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成21年12月24日(木) 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、松永教育長
- 4 説明のための出席者
古川教育部長、池浦教育総務課長、久住子育て支援課長、小林学校教育課長、
嘉代小中一貫教育推進室長、捧中央公民館長、坂井学校教育課主幹、西山小中
一貫教育推進室主幹、尾崎教育総務課主幹、駒形教育総務課長補佐、藤井企画
調整担当、阿部教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 3人
- 6 議 題
 - (1) 前回会議録の承認について
平成21年第11回教育委員会定例会会議録
 - (2) 議 事
議第1号 第一中学校区小中一貫教育小・中学校一体型教育施設整備構想について
議第2号 三条市立一ノ木戸小学校施設整備構想について
議第3号 三条市立裏館小学校施設整備構想について
議第4号 三条市学校給食施設整備構想について
 - (3) 報 告
報第1号 平成21年度第2回公民館運営審議会会議録について
 - (4) その他
ア 三条市議会12月定例会の概要について
イ 学校における新型インフルエンザ対応について
ウ 小中一貫教育関係の概要報告について
エ 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
 - (1) 前回会議録の承認について
長沼委員長から平成21年第11回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定
 - (2) 議 事
 - ・議第1号 第一中学校区小中一貫教育小・中学校一体型教育施設整備構想について
 - ・議第2号 三条市立一ノ木戸小学校施設整備構想について
 - ・議第3号 三条市立裏館小学校施設整備構想について嘉代小中一貫教育推進室長、池浦教育総務課長から一括説明
質疑に入る。
(長沼委員長)

大変短い期間中に本当に皆さんお忙しく、とてもよくやっただきっていると私は本当に感心していつも読ませていただいている。地域の方からは様々な意見が出て、そのどれにも本当によく対応してくださって、段々雰囲気も加速がついている気がする。

何かご意見ご質問なり、よろしいですか。

(須佐委員)

各施設において、その他のところに「太陽光発電設備の設置」とあるが、導入の方向で行くのだろうか。それともまだ全然考えができていないのだろうか。

(池浦教育総務課長)

現在、私どもとしては環境教育の一環として設置をしていく前提で協議を進めたいと思っている。ただ、細かいことについては全体の政策を踏まえ、施設検討委員会の中で更に詳細を詰めていく必要があるだろうと思っている。

(長沼委員長)

今の国の流れで、このような対策をしなければならないということなのか。

(池浦教育総務課長)

政権交代により、こういった環境問題の話もなされていることを考えれば、全体の政策としてはあつてしかるべき方向だと思っている。ただ、個々具体的にどうしていくかについては、三条市なりの緊急度や方針といった考え方を整理して落とし込んでいきたいと考えている。

(渡辺委員)

第一中学校区の3ページの配置構想で、駐車場100台分とはどの辺りを想定しているのか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

100台相当分の想定地については、それぞれ空間の面積を算出して、おおむね100台程度可能であろうという判断だ。具体的には例えば、管理棟の上の部分の空いている場所、それから校門の下、小学校棟の右脇など、こういう空間を利用しての駐車収容台数の想定である。

(長沼委員長)

四日町小学校の跡地も、何もなときは駐車場にできるのかと、父兄会か何かのときにお聞きしたよう気がしたが、間違いだろうか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

四日町小学校跡地のサブグラウンドについてはいろいろなご意見があり、基本的には駐車場とする方法も一つある。例えば、学校行事でここでもやむを得ないという意見が出ている一方で、グラウンドを芝生化した場合、果たしてそこが駐車場として適切なのかというご意見もある。これらは地元の方々や学校関係者と協議をしながらどういう方向が最も望ましいのか、今後具体的に進めていきたいと思う。

(渡辺委員)

同じページで県道の脇に市道を付け替えるとの説明があったが、脇には民家がある。この辺のことをもう少し説明していただきたい。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

3ページの基本配置構想は、5の基本構成案に基づいてこの校地でそういう施設が建てられるのかという観点で便宜的に配置したもので、この構想のイメージ図だ。この中で、真ん中の白抜きの部分が現在三高グラウンド線ということで市道になっている。これを廃止する代わりに、生活道路であるという観点からこの南側、図の右側の方に、網掛けがちょっと濃くなっている部分があるが、こちらに市道を付け替えようとするものだ。

具体的には、付け替え市道については、敷地を道路用地に充てるという形になるかどうかと考えている。今ほどお話があった民家は、県道三条停車場四日町線とこの取り付け道路の間の空白部分にある。地元との話し合いの中では、まず事業を推進することについてご了解をいただいている。それから付け替え道路規模については、今後具体的に検討を進めていくという段階だ。

(坂爪委員)

どちらの基本構成にも地域交流スペースというものが出ている。ぜひ高齢者の方から子育ての方まで幅広く使えるようにして、入りやすい場所を確保していただきたい。例えば、ここの「すまいるランド」や一時保育のところを見るとかなり大勢が利用している。ぜひ入りやすい地域コミュニティがあればいいと感じている。

(長沼委員長)

先日、裏館小の関係者が話していたが、私どもが思うより学校というのは敷居の高いものだ、子供がいるときは行けるけれども、そうではないときは本当に行けない、敷居の高いところだと聞いた。考えてみれば私も学校は用がないのに行ってはいけないところだと思っていたので、そういうスペースがあれば、見に行ったり目が届いたりすることが多いのかなと思う。

(渡辺委員)

これは全体に言えるのではないかと思うが、先ほど須佐委員からも指摘があった太陽光発電の設置などについては、もっと慎重に資料、あるいは先進地の視察等を含めて取り組まれた方がいいのではないかと思う。合わせて芝も同様である。

実際の取り組みは正月以降始まるわけだが、多額のお金をかけるわけですので、そういう況等をよく考えて進めていただきたい。

(池浦教育総務課長)

先の定例会において、第二中学区の公民館建設において、太陽光発電を設置するお話をしたが、この結果を見ながら、また私ども先進地からいろいろ学んできているが、そういうものを見ながら更に研究を重ねていきたいと思う。

グラウンドの芝生化については、今回の緊急経済対策の中で三中、大崎小、大島小で来年度のうち実施させていただく。どういった芝がいいのか、またどういう張り方がいいのか、あるいは管理運営の問題をどうクリアしていったらいいのか、この辺りを十分見定めて最善の形で進めていきたい。

(長沼委員長)

先日、太陽光発電について給食施設の視察で見せていただいたが、今学校施設には全国で展開しているのか。北限とかはないのか。

(池浦教育総務課長)

今回9月に緊急経済対策、スクールニューディール構想が国で発表されて、私どもはそれを受けて三条版を作った。国のスクールニューディール構想の中で太陽光発電については、大幅な補助対象になっている。そのことを考えると、国としても力を入れてきている施策だろうと思っている。

我々も、その実効性もそうだが、ひとつの日本の大きな方向性から三条の姿勢としても、そういったものを取り入れる方向で検討されるべきだと思っている。ただ、そのために逆に負担が増えることがあれば、それはきっちりと見定めたいと考えている。設置するのはお金さえあれば簡単にできるわけだが、その後の維持管理等の問題もあるので、先進地等の状況を見た中で進めていきたい。

(松永教育長)

この太陽光発電については、新潟県という風土の中でどれだけの効率性があるのか、あるいは環境負荷のためにはどうなのか、その辺について今後検討していきたいし、資料提供をしながらプロポーザル方式の中でいろいろ検討してもらうことになる。

もう一つ今ご質問があった芝生化の問題については、どうしても推進していかなければならないのではないかと考えている。例えば、三条高校跡地に作るにしても、実際にどういう配置になるかは分からないが、今までのグラウンドに校舎ができて、校舎があったところがグラウンドとなった場合、近くの民家が砂塵の被害を受けるようになる。今まで被害を受けなかったところが受けるような形になってくる。

そういう形の中でやはり被害防止を含めて、子供たちの環境、グラウンドの条件を良くする中で芝生化を進めていくということは、第一に考えていかなければならないのではないかと私は思っている。

これは裏館小学校も同じである。今後、校舎の配置図は設計業者によって変わってくると思うが、そういうことを考えた中で、検討していく必要があると思う。

もう一つ、旧三条市の小中学校のグラウンドの排水条件が非常に劣化しているという背景もある。この際排水を良くし、環境整備につなげたいと考えている。

今の説明になかったが、一ノ木戸小学校の校舎移転に伴って、一ノ木戸小学校の跡地については、中学校の子供たちの部活動などにも活用していきたいと思っているが、その辺の話をお願いしたい。

(池浦教育総務課長)

一ノ木戸小学校については、体育館は残し、校舎についてはすべて解体させていただきたい。体育館は残るわけなので第二中学校区の体育館としても活用できる。グラウンドについては、今後詰めなければいけないが、イメージ図を見ていただくと、第二中学校のテニスコートに一ノ木戸小学校の特別教室棟が建つような配置をイメージしている。今後、業者がどういった提案をしてくるか分からないが、これを視野に入れると、第一中学校区と同じように小学校跡地にテニスコートを設置する必要があるだろうと

いう方向性はある。

(松永教育長)

もう一つ、一ノ木戸小学校の入り口と中庭のところに、たくさんの記念碑や石碑などが建っている。これはいろいろな方からご寄附をいただいて建てられたもの、あるいは設置されたものなので、壊すわけにはいかない。どこか1か所、適当な場所に移設をするという形を考え、ご寄附された方に対する、その学校に対する思いを大事に留めておきたい。その費用等についてはこの中に入るのかあるいは別になるのかだが、そういう記念碑的なものも並ぶような形で検討していかなければならないのではないかと考えている。

(池浦教育総務課長)

また、結構大変なのが、タイムカプセルである。分かるところはきっちり分かるが、学校側としても分からないものが結構ある。教育長が記念碑と言われたが、そういう子供たちにとっての記念なども十分これから配慮していかなければと思っている。そういうところも含めて、詳細の設計の際にはできる限りの情報を集めて整理していきたい。

(長沼委員長)

芝生だが、私どもが視察した際に、養生期間がかなりいるということで、人工芝はお考えにならなかったのですかと聞いたところ、ただでくるから芝生になったので、人工芝という考えは全然ありませんでしたと、そういうお金をかけるつもりはありませんでしたとおっしゃった。養生期間を考えると、そういう考え方というのはないのだろうか。人工芝なら養生期間がなくてすぐ使えると私は思うのだが。

(池浦教育総務課長)

人工芝も芝生の議論の際に少し話させていただいたと思うが、今私ども先進地を見させていただいたときに、校庭の温度は普通の芝だと下がるが、人工芝はクレーよりも上がってしまうと聞いている。

養生等といろいろと問題はあるが、芝生の種類やそういったものを十分これから研究する中で、できるだけ養生期間が短くて強いものを選定していけば対処していけるのではないかと考えている。

芝生化については、今年度中に業者まで決めて契約をする。その後、来年度中に施行すればいいという中で学校と調整を図っている。しばらく時間があり、それは確かに心配な点なので十分研究していきたいと思っている。

(渡辺委員)

関連してだが、いわゆる全天候型という考えはなかったのだろうか。東京辺りでかなりあると思うが、こういう発想は出なかったのか。

(池浦教育総務課長)

人工芝の下に雨を溜めるような新しい人工芝が開発されるという話は聞いており、知識としてはなかったわけではないが、特に議論としては出てこなかった。

(坂爪委員)

天然芝、人工芝どちらでも、やはり現場のことを考えていただいて十分に検討をして

いただければと思う。今ほど委員長が言われたように、冬場は芝生は枯れる。芽が出る頃は3月、4月、5月頃の一番使わなければならない時期だ。学校関係でそこが使えないと後に響く。その後また梅雨に入り、雨が降ると天然芝はなかなか使いづらくなってくるといふこともある。十分検討していただきたい。

(長沼委員長)

値段はものすごく違うのか。

(池浦教育総務課長)

具体的な価格は今お答えできない。視察に行った磐田市のものをイメージしていると思うが、できれば冬芝と夏芝と混在して1年中で緑の芝生でやっていきたいということ視野に入れている。今、この栄庁舎にあるような高麗芝は結構高いが、それ以外は全然安い。安くて丈夫だがその分管理が大変と聞いている。

全員異議なく承認と決定

・ 議第4号 三条市学校給食施設整備構想について

池浦教育総務課長から説明

質疑に入る。

(須佐委員)

自校方式の導入により懸念されるということで、経費の増加と出ているが、やりようによっては懸念にならないのではないかという気がする。人件費について、それだけ施設が増えれば人はいるが、視察に行った神奈川の調理場では9割の方がパートさんだった。そういった人件費のかけ方で、その辺は逆にうまく調節できる。

それと大量購入によるコスト削減効果が減少するというが、場所が分かただけで購入はうまく一緒にやればいいのではないか。各調理場で購入すれば、今より下がるかもしれない。

経費の増加という懸念については、あまりマイナス面がないなという気がするので、工夫すればうまくいけるのではないかとはいえる。

(池浦教育総務課長)

施設整備に関して、特にイニシャルコストは、単独で建設する共同調理場と、学校に併設する自校方式の調理場では、概算で比較をすると、体育館の下に作ったり、校舎の一部として建設したりする自校方式の方が、校舎等との共有部分がある分、単独で建てるよりイニシャルコストは安くなる。

ただ、人件費を考慮した場合は、やはり増えてしまう。そういう意味では民間への委託を視野に入れなければいけないが、問題は正職員の配置である。正職員は定年退職になるまでは、このことによって退職していただきとはいかない。実際、平成29年を過ぎると効果が現れてくるのではないかというシミュレーションをしている。これから委員ご指摘の点については十分検討させていただくが、効果がいきなり出るというものではなく、人件費の部分の効果としては、平成29年度ぐらいからと思っている。

県内でも共同調理場の運営は、いろいろな方式でやっているが、県全体で33%程度が

民間委託をしている。実際、直営でやっているところについては、正職員1人に対してパート2.5人とかそれ以上で運営しており、なかなか運営が難しいところがある。私どもも今正職員1人に対してパートが1人を超えている状況で、かなり限界感がきている。

結果的に安全安心な給食の提供につながらないことになることを一番私どもが懸念しているところなので、その辺を十分に見定めながらやっていきたいと思っている。

全員異議なく承認と決定

(3) 報 告

・ 報第1号 平成21年度第2回公民館運営審議会会議録について

捧中央公民館長から説明

質疑に入る。

(松永教育長)

この中の通学合宿の件について、小学生に大変いい経験をさせてもらって感謝している。今回、インフルエンザが流行した中で大変苦労されていると思うが、それについてこの審議会ではどのように評価され、あるいは今後のあり方等について何かご意見をいただいたところはあるか。

(捧中央公民館長)

特に通学合宿については、下田地区が先駆けて始めて、それから三条市全体に広めた。三条市全体に広めて今年で3年目になる。そうした中で、親御さんや子どもさんたちにはいい体験だったと非常に好評だが、なかなか参加者が伸びていないという実態を捉えて、PRが足りないのか、それとも例えば保護者、あるいは子どもさん、学校の理解が足りないのかということの指摘が若干あった。

私どももPRが足りないこともありますと、ただ通学合宿なので、私ども主催者としては学校の授業に差し障りがないことがまず第一番、それから違った学校の子どもさんたちが集まるわけなので、子どもさんたちの体調管理、それから安全の面に配慮しなければならぬということを申し上げた。

そんな中で来年の方向性としては、現在下田の「よってげ邸」の泊まるキャパシティが20人くらいで、風呂も狭いので、できればグリーンスポーツセンターに統合して2回でできないかなということも今検討している。私も今回3回出てみていろいろと改善すべき事項があったので、この辺を委員の皆さんと細かい話を詰めさせていただきながら検討していきたいと申し上げた。

今回は初めて学校教育課からも、いろいろなところで協議の場に加わっていただいた。反省会も初めてさせてもらったので、新しいいい面をまた次年度に伝えていけるのではないかと考えている。

(長沼委員長)

参加なさった方から、テレビを見ない、テレビゲームをしないだけでもよかった、それが一番ありがたかった、なくても生きていけるということが分かったと伺った。子ど

もは1人とか2人で参加できない。クラブで参加ということになるとまた合宿みたいになってしまう。でもたくさん参加してほしいと本当に思っている。

(渡辺委員)

8ページ、結びのところで出席が悪かったとのことだが、どの程度の出席でその理由はどのようなものか。何か原因があったのか。

(捧中央公民館長)

1ページをご覧くださいと分かるが、公民館運営審議会委員は今回の出席者が9人、定員が今15人、うち1人欠員が出ており、14人の委員が任命されている。阿部副委員長は、14人のうちの9人では少ないのではないかという感想だった。今回、急に仕事が入った方、直前になって欠席の方がいた。それがなければ11人なのでそう少ない出席ではないと思うが、確かに今までの回に比べると若干出席は少なめかなという形だ。

(松永教育長)

これからできる東公民館の中央公民館との関係は、今までの嵐南公民館のような関係で行くのか、その辺はどんな位置付けになるのか。

(捧中央公民館長)

建設当時から中央公民館の集会室や会議室は、ほぼフルの状態に使われており、展示や踊りなどの発表のための小さいスペースがないということなので、一つは第二中学校区の地区の公民館としての機能、それから今申し上げた中央公民館の補完的な機能の2つを兼ね備えた施設になる。

今、館全体の運営は中央公民館がやっているのだから、中央公民館と連携してやることになる。例えば、展示会をやるとか、音楽会をやるということは、中央公民館と東公民館とがお互いに相談をしながらやる。それから、地区の公民館として例えば講座を開くとか地域のふれ合いの場所になると、これは東公民館の裁量でやっていただくという形の運営になる。

先ほど太陽光発電の話があったが、私どもも補正予算をいただき、約4,000万円をかけて太陽光発電のパネルを今週屋根に設置した。太陽光の発電能力だが、東側斜面に乗っているのだから、関東地区の一年間通して100%日が当たるところと比べるとおおむね80%ぐらいの発電能力があるだろうと、冬期間でも東側にあるので若干の発電はするだろうと聞いている。それから机上の計算ではあるが、公民館全体の電気の使用の約30%程度賄えるのではないかと想定している。あと、発電した電気がいらないうちは東北電力に売電をする。ただ、元が取れるかということになると、なかなかコストの面では厳しいものがあることは承知した上で、市としての全体の環境政策の取り組みの中で設置させていただいた。

(長沼委員長)

国の補助金は太陽光のみなのか。風力はどうか。

(古川教育部長)

補助金は太陽光だけだ。全体の政策として、環境省で進めていかれるもので、地熱や風力など、気候風土に応じた発電について研究も進められており、今後もまた力を入れ

てくるだろうが、緊急性があるということ、また産業分野を応援するという趣旨もあって、まずは学校施設や公共施設などに、すぐに入れられるようなものとして太陽光が選ばれていると考えている。

全員異議なく承認と決定

(4) その他

ア 三条市議会 12 月定例会の概要について

古川教育部長から説明

質疑に入る。

(長沼委員長)

この小中一貫教育等調査特別委員会の設置についてというのは、今ご説明いただいたのだが、今後どうなるのか。

(古川教育部長)

今後の具体的な日程や内容については詳細はまだ決まっていないが、およそこの項目に書いてあるようなことで、その内容が進んだ場合にはご報告をすることになると思っている。2回目以降の日程は今のところ未定だが、今後設計業者の選定等、具体的な動きがあった際には報告をすることになるのかなと考えている。議会の方で決められることなので、要請に応じてご説明したいと思っている。

(松永教育長)

中学校施設整備費の補正 2,000 万というのは、保内小学校の 6 年生で筋ジストロフィーの男の子が第四中学校に入学する。今車椅子や伝い歩きをしているが、段々筋力がなくなっていって歩けなくなる。車いすの生活をしているが、知的障がいはなく普通学級で生活をしたいという要望もあり、そういうことへの対応ということで階段の昇降機やトイレ、あるいは玄関の入り口のスロープを整備して、バリアフリー化を図るもので、4月の入学に間に合わせたい。

イ 学校における新型インフルエンザ対応について

小林学校教育課長から説明

質疑に入る。

(松永教育長)

学校関係のお 2 人はある程度ご承知だと思うが、学習指導要領の標準時数というのがあって、年間 35 週で計算して授業時数と標準時数を出している。普通、42 週くらいの授業時数があるので、35 週という割合にゆとりがある。学級閉鎖をしてもある程度授業時数は補充できるが、今回の新型インフルエンザによる学級閉鎖、学年閉鎖に加え、また今後も季節性のインフルエンザ等の発生も考えられるので、最低限の授業時数は確保しておいて、3 学期に備えていきたい。従って、何日休んだので何日補充しなければならないというものではないということをご理解いただきたい。

(渡辺委員)

児童生徒数の関係も絡んでくるので、学校間によって大きな差があるのは、仕方ないと思う。それぞれ学校ではいろいろな予防対策を取っていると思うが、顕著に効果が上がっているような学校はあるのか。

(小林学校教育課長)

10月末から11月末の流行った頃、一ノ木戸小学校や荒沢小学校が全然かからなかった。ところが結局は遅れてやってきて、今は一ノ木戸小学校のみというように集中している。やはりどこもかかるのかと思っている。ただ、手洗い、うがいの励行はお願いしているし、汗の始末等も季節性のものがあるのでお願いしているところだ。

どこが顕著にということはなく、すべての学校で出てきて、やはり1回はみんなかかってしまうという状態になっている。一時期、なかなかこの学校は頑張っているというのはあったが、今はもう全部かかってしまっているという状態だ。

(松永教育長)

高校生は大学受験が間もなくあるから、国もタミフルや予防接種と言っているが、中学生は2月上旬から私立の高校入試が、一般入試が3月上旬にある。各学校に我々も、受験生に対応して、渡辺委員が言われたようなかからないための予防、更なる注意喚起を進めていかなければならないと考えている。

せっかく受験する子どもが自分の力を発揮できないまま受験期を迎えては可哀想だ。国の動向もよく見ながらいろいろな通知や連絡等もやっていかなければならない。受験生にとっても大事な時期なので、よろしく願いしたい。

(長沼委員長)

先日、小児科のお医者さんに伺うことがあった。今、子どもの体温がとても低く、低体温の子どもが問題になっている。そういう子どもがインフルエンザにかかると重くなりやすい。低体温というのは常々教育長が言われているように、生活習慣でないと上がらないと。体温が低いと病気になりやすくて、なったときには重くなるので、特に子どもは大人よりもっと難儀だそうです。37度くらいの熱が出て平気だと思うのだが、それが普段の体温が35度くらいの子どものと物すごく難儀で重くなる。悲しいことに予防接種にも負けるくらい。低体温というのは本当に問題なので、普段の生活をきちんとし、体温を上げることがとても大事だと。どんなにいい薬でも体温が低いと効きにくいと残念がっておられた。

今割と中学生でも普段体温が36度ないという子が多い。もしかしてプールのときだけでなく朝体温を測ることも必要なのかというくらい、中学生、高校生に多い。もしできたらそんなこともご注意いただければと思う。

ウ 小中一貫教育関係の概要報告について

嘉代小中一貫教育推進室長から説明
質疑に入るが質疑なく、質疑終結。

エ 次回教育委員会定例会の日程について

池浦教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日 時 平成22年1月28日(木) 午後1時30分

会 場 三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉会宣言 平成21年12月24日 午後3時13分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

平成22年1月28日

三条市教育委員会
委員長 長沼 礼子